

事業コード	01020303		政策コード	01	政策名	産業構造の転換に向けた産業・エネルギー戦略				
事業名	先進がん医療等コア技術開発推進事業		施策コード	02	施策名	秋田の成長を牽引する企業の育成と成長分野への新たな事業展開				
部局名	産業労働部	課室名	地域産業振興課	指標コード	03	施策目標(指標)名	医工連携による医療機器関連産業の育成			
			班名	技術振興班	(tel)	2246	担当課長名	佐藤 徹	担当者名	大西 勝

評価対象事業(計画)の内容 事業年度 平成28年度 ~ 平成30年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 本県は、県内製造業の多くが下請加工型で付加価値生産性が低いといった課題を抱えている。また、がんによる死亡率全国1位という状況が平成9年から続いており、この死亡率の改善が課題となっている。がん対策のうち、がん患者の治療においては、高精度な病理診断と患者個々人の体質に最適な分子標的薬の投与量の決定等が医療界のニーズとしてある。このため、これらの医療ニーズに対応した新たな医療機器開発に要するコア技術の開発を支援するとともに、サプライチェーン形成による県内産業の高付加価値化を図るほか、がん患者の生活の質の向上を図ることが必要となっている。

3. 事業目的(どのような状態にしたいのか)  
 医療ニーズに対応するため、産学官のコンソーシアムによる新たな機器開発に要するコア技術の開発を支援するとともに、サプライチェーン形成による県内産業の高付加価値化を図るほか、がん患者の生活の質の向上も図る。  
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況  
 ニーズを把握した対象  
 受益者 一般県民 (時期: H28 年 03 月)  
 ニーズの把握の方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に 北東北ナノ・メディカルクラスター研究会 )  
 ニーズの具体的内容  
 研究会の意見交換の場において、医療従事者から、精緻な病理診断とがんの分子標的薬の投与量の決定等が医療界のニーズとしてある旨の報告があった。

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体 産学官で構成されるコンソーシアム  
 事業の対象者・団体 大学、県内企業、公益財団法人あきた企業活性化センター  
 達成のための手段  
 医療ニーズに対応した産学官のコンソーシアムによる研究開発について、その必要な経費を支援する。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 医療福祉関連産業成長促進事業については、補助期間が3カ年であり、当該事業に類似しているものであるが、県内の中核となる医療機器メーカーの製品開発を1/2で補助するものである。本事業は、拡大が想定される病理検査市場や個別化医療への参入の土台となる技術の開発支援であるため、10/10により補助するものである。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内記	左の説明	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	全体(最終)計画
01	先進がん医療等コア技術開発推進事業	がん治療における医療界のニーズに対応するため産学官のコンソーシアムによる技術開発について、それに要する経費を補助する。	40,918	63,339	38,434				142,691
財源内記			40,918	63,339	38,434				142,691
国庫補助金			20,459	31,669	19,217				71,345
県債									
その他の									
一般財源			20,459	31,670	19,217				71,346

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 サプライチェーン形成による県内産業の高付加価値化が図られるほか、がん患者の生活の質の向上が図られる。

指標	指標名	国際（PCT）特許出願件数							指標の種類
	指標式	国際（PCT）特許出願件数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	最終年度
	目標a			1	2	2			
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国			産学官で構成されるコンソーシアムの管理法人からのヒアリングによる					

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
先進がん医療を実現するための医療機器開発について、産学官のコンソーシアムによる研究開発を支援することにより、県内企業の高付加価値化を図るために必要な取組である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
がん患者の生活の質の向上という側面と北東北ナノ・メディカルクラスター研究会における医療界のニーズという側面から、住民ニーズは十分にあると考える。

**事業の県関与の必要性**  
法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県内製造業の付加価値生産性の向上は、県の政策課題の解決に資するものであり、県が関与することは妥当と認められる。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他